

一人暮らしの高齢女性の「大人に一人」が貧困に陥っています。背景に男女賃金格差があります。ジェンダー平等の社会構造がでています。

(鶴川由子)

## 女性の資本

「おひん苦労してかり」を感じてきました。払い続けてきたんです。た。

東京都内に住む浦野晶子さん(74)は假名川は年金の振込通知書を手に持つときます。年金は手取りで月10万円ほど。42年間、年金保険料を納めています。

### 「引っかかり」

幼い頃から「女性であることに引っかかって、女性には『手抜き



年金の振込通知書を手に持つ浦野晶子さん

# 42年納め年金月10万円

年金受給額(月額)と受給者数(人)の男女比較	
男性	女性
19,367	30万円以上 389
310,004	25~30万円 4,294
2,287,877	20~25万円 64,462
4,283,595	15~20万円 403,175
2,671,176	10~15万円 2,122,963
1,067,790	5~10万円 2,237,266
176,602	5万円未満 338,327

厚生労働省「平成30年(2018年)厚生年金・国民年金事業統計年報」にもとづき全日本年金者組合が作成

程度の仕事をしか求められませんでした。手に職をとるサイエンスを学びました。いくつか職場をへて、やつぱり正社員の仕事を得た後、晶子を出産しました。子育て、仕事、両立する日々が過ぎた。家父長制の営む商家で育ちました。「跡取り」だった父は「人を使いたい」とあります。いつも威張っていました。家の中でも「弟にしか期待しない。娘なんていないよ」と扱われた。悔しかった。

黒い空気がじりじりと這いつぶつた。その後、友人の紹介で何とか週30時間の仕事を見つけました。しかし職場は「経費削減」を理由にパート職員を大幅に減らしました。そのため、「足りない」とでも思えたのです。7度目の抽選でも「まだ勤げる」と、1ヵ月以上パートは辞めませんでした。

住まいは都営住宅で、7度目の抽選でも「まだ勤げる」となりました。介護認定を申請して要介護」と認定され、70歳を過ぎて70歳を過ぎて、看護業のパートに肺がんで代半ば。「3歳児を抱えるシンクルマザーが正規職につくことは、ほぼ諦めませんでした。たゞ、肺がんでいた

大勢いるなか、「晶子サービスを受けている」という言葉をヒントとして、晶子として職場に参りました。月収は15万~17万円。定年まで数年後、晶子を出産した。「朝から晩まで働きました。」「朝から晩まで働きました。」

「朝から晩まで働きました。」

△

全日本年金者組合によると、年金額10万円未満の受給者は男性124万人、女性は267万人。女性は50%超は年金が10万円未満です。(タラフ認認)65歳以上の単身女性は約400万人と増えつつあります。

東京都立大学の阿部彩教授によると、一人暮らしの女性の貧困率は、勤労世帯(20~64歳)で24%。高齢期(65歳以上)は46%と上ります。(つづき)